



LEICA **SUMMILUX-M** 50 f/1.4

テクニカルデータ

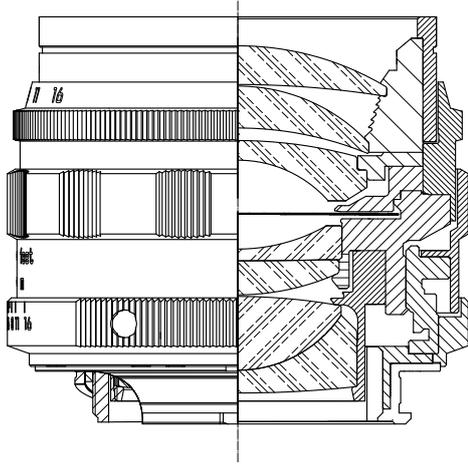


レンズ	ライカ ズミルックスM f1.4/50mm
製品コード シルバークローム仕上げ	11714
画角 (対角/水平/垂直) 35 mm判換算 (24x36mm)	45°、38°、26°
光学設計 レンズ構成 入射瞳位置 合焦範囲	5群7枚 29.8mm 0.7mから無限遠まで
測距 スケール 最小撮影面積 最大撮影倍率	メートル(m)/フィート(fi)表記 35 mm判換算: 275x413mm 1:12.5
絞り 設定方法 最小絞り 絞り羽根枚数	クリックストップ絞り、目盛り間の中間値設定可 16 12
レンズマウント	ライカMマウント (6ビットコード付)
フィルター取り付け部	E46
レンズフード	外付け (同梱)
寸法 長さ 直径	約45mm / 71mm (レンズフード付き) 約58mm
質量	約417 g / 約450 g (レンズフード付き)



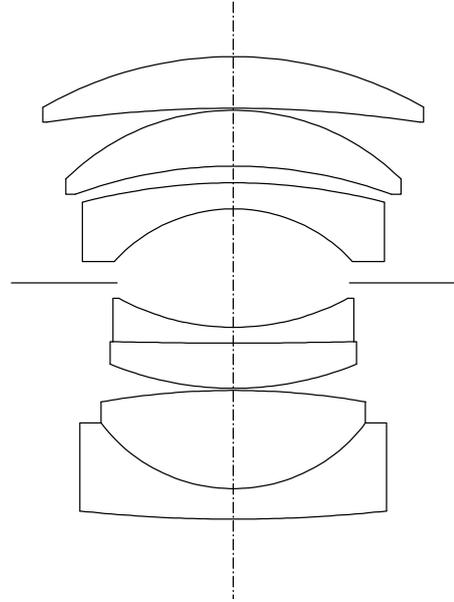
LEICA **SUMMILUX-M** 50 f/1.4

製図



縮尺 1:1

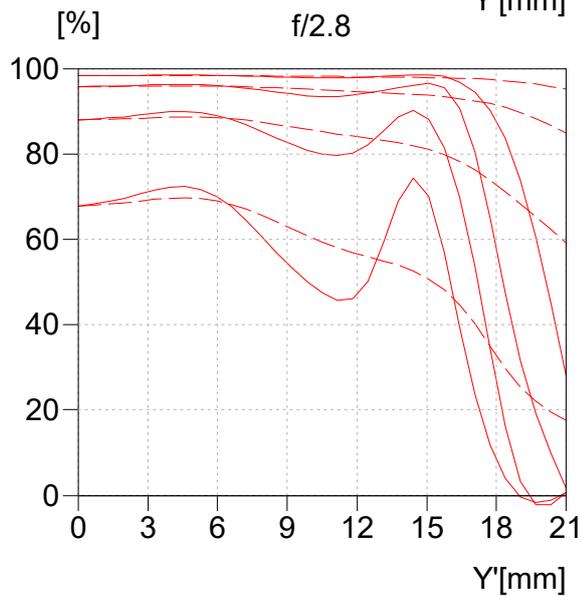
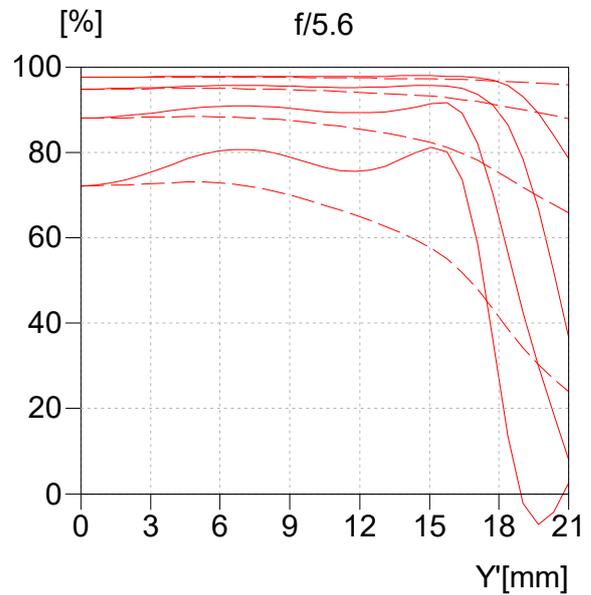
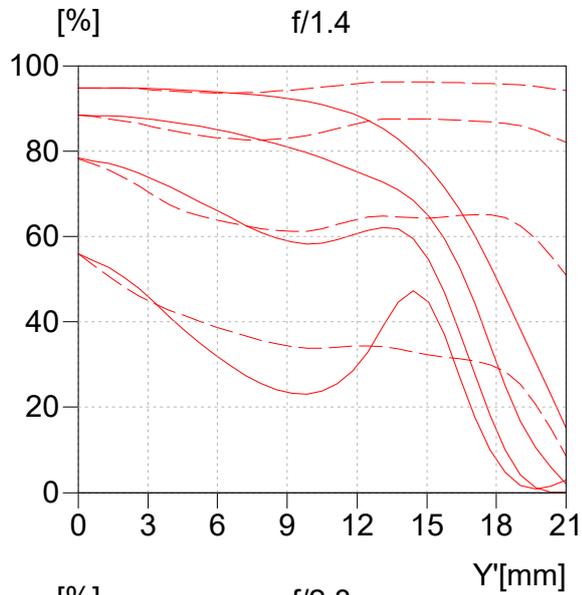
断面図





LEICA **SUMMILUX-M** 50 f/1.4

MTFチャート



— サジタル
- - - タンジェンシャル

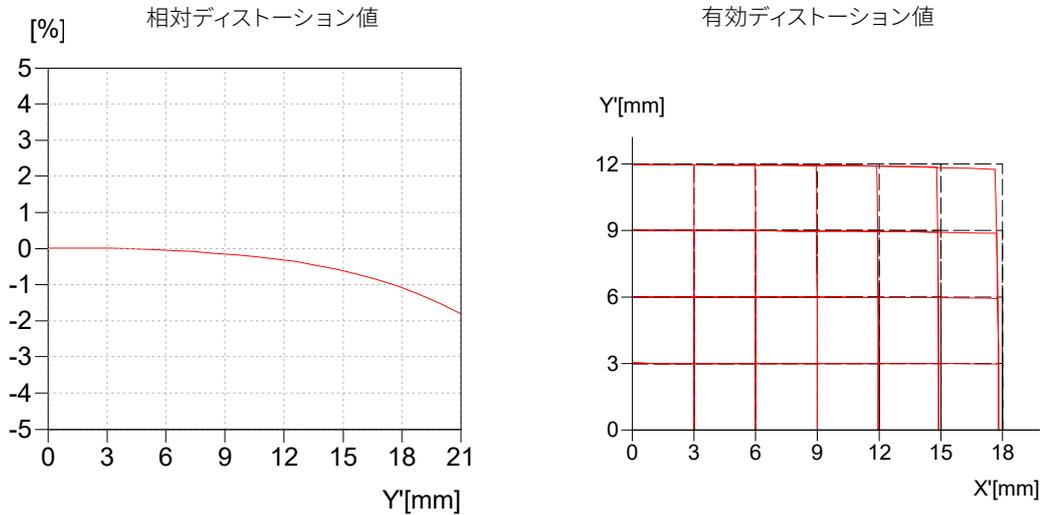
MTF曲線

MTFは開放絞りf/2.8とf/5.6（無限）ごとにグラフ化されています。パーセントで表示されているのは5、10、20、40 Lp/mmのタンジェンシャル（破線）とサジタル（実線）の白色光の下でのコントラストです。5および10 Lp/mmの場合、コントラスト挙動が粗く、20および40 Lp/mmの場合はより細かい、最高の解像度を表します。

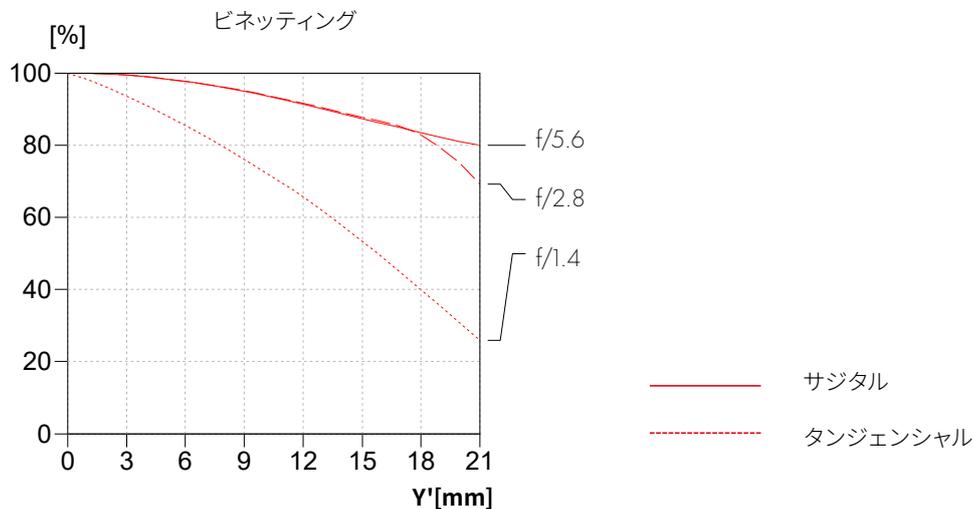


LEICA **SUMMILUX-M** 50 f/1.4

ディストーション



ビネッティング



ディストーション

ディストーションとは、対象物の高さや画像の縮尺から算出した像の高さの理論値と実際の像の高さを比較した偏差です。相対ディストーション値とは像の高さの理論値と実際の数値の偏差をパーセント表示したものです。21.6mmの像の高さは撮影範囲のある一角から中央までの半径方向の距離です（画像フォーマットが24mm×36mmの場合）。有効なディストーション値をグラフ化すると、実際の経路と画面内の水平方向と垂直方向の線の曲率が明確に表されます。

ビネッティング

ビネッティングとは画像の隅の方向に行くにつれて画像の明るさ（照度）が次第に減少していくことです。（口径食とも言い、画面の角が暗くなる）グラフでは明るさの減少が画像の高さごとにパーセント表示で示されています。100%の状態ではビネッティングは発生しません。